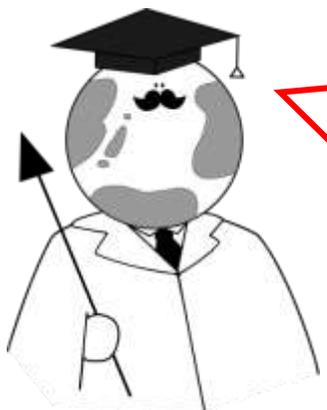


NEWS 吉祥祭

第1号

発行日:2017年5月10日

発行:吉祥祭実行委員会



はじめまして!! 吉祥祭実行委員会です!! 吉祥女子中学・高等学校では9月23日(土), 24日(日)に第79回吉祥祭を実施します。それに向けて、このようなPDF形式で吉祥祭を追っていきたいと思います。これからよろしくお願いします!!

←今年度のキャラクター「グローバ博士」

今年度吉祥祭テーマは…

グローバリゼーション



第79回吉祥祭テーマ 『グローバルゼーション』について

テーマ説明文

吉祥祭では毎年1つのテーマを設け、各参加団体はそのテーマに基づいて発表を行っています。今年度のテーマは昨年度3月の期末考査終了後から実行委員会が議論をかさねていき、3月19日・20日に本校の八王子キャンパスで行われた合宿で決定しました。今年度実行委員会では、テーマについての説明として、以下のことを全校生徒に向けて発信しました。

「グローバルゼーション」。今、この数十年進んできた地球規模の大きな流れの是非が世界的に問われています。グローバルゼーションとはヒト・モノ・カネが国家の枠組みを越えて移動して国同士の境界線が曖昧になり、政治的、経済的、文化的な関連が地球規模で広がることを指します。現在、TPPに対し保守的な姿勢を見せるアメリカや、EU脱退を支持する国民投票結果が示されたイギリスなど、グローバルゼーションの流れに逆行する動きを見せる国々が現れてきました。これらの動きにより経済や産業など様々な面で日本も大きな影響を受けることが懸念されます。そんな今だからこそ、私たち吉祥祭実行委員会は第79回吉祥祭テーマとして「グローバルゼーション」を掲げます。そして、「グローバルゼーション」に関連する研究対象として大きく三つの方向性を示したいと思います。

一つ目はグローバルゼーションの歴史的背景や現状についてです。グローバルゼーションという現象の背景には、冷戦中の東西対立下での科学技術の開発競争や、1989年の冷戦終結後に加速した経済のグローバル化、インターネットの普及といった歴史的事実が存在しています。また、最近ではTPP問題など、グローバルゼーションの在り方が社会問題として取り上げられるケースも増えています。歴史的事実を辿り、現状に繋がった背景を調べつつ、グローバルゼーションという現象そのものについて具体的に考察してほしいと思います。

二つ目は産業と密接に関わるグローバルゼーションについてです。現在の世界では資源・技術・サービスなどが国家間を行き来し、私たちがより便利かつ快適な生活へと導いています。しかし、世界規模での情報や技術の共有によって多国籍企業が活動の幅を広げるなど産業が発達する反面、地域による格差拡大や自国産業・経済の衰退に繋がりがかねないといった問題もあります。産業分野で起こる功罪どちらの側面からも考察してほしいと思います。

三つ目は文化的側面から見たグローバルゼーションについてです。グローバルゼーションによって世界のどこでも同じモノが手に入るようになり、食文化や被服文化など、様々な文化が地球規模で共有されるようになりました。異文化交流によって精神的にも豊かになる一方、グローバルゼーションから生じる問題点として、世界が均一化し、自国の既存の文化や伝統が衰退しうることが挙げられます。以上のことを踏まえ、様々な切り口から文化に関連するグローバルゼーションについて研究対象としてほしいと思います。

今年度吉祥祭実行委員会では、これから世界を舞台に活躍していくであろう生徒一人ひとりに、日本だけでなく世界に目を向け、「グローバルゼーション」についてより深く様々な視点から考察していただきたいと考えています。そして、吉祥祭が今を生きる生徒自身の問題意識に響くような、未来へ繋がる研究・発表の場となるよう願っています。

テーマロゴについて

吉祥祭実行委員会では、毎年テーマに合わせたロゴを作成しています。

今年度は地球をモチーフとしたロゴとなりました。以下はロゴについての詳しい説明です。



今年度のロゴは、グローバリゼーションという現代において複合的に進行する変容過程をパズルのピースで組み立てられた地球を用いることで表現しました。

まず、パズルで表された地球はピースの1つ1つで国や地域を表現しています。それらのピースを組み合わせて地球をかたどらせることで世界の数多くの国や地域が互いに関わりあっているということを表現しました。これは、グローバリゼーション、つまり「政治的、経済的、文化的な関連の広がり地球規模であること」を示しています。また、グローバリゼーションにより様々な事象が引き起こされています。その例として産業の空洞化や貧富の格差拡大、技術の流出などがあげられます。今年度のロゴではその中でも世界の均一化を取り上げました。グローバリゼーションによって世界中のどこでも同じモノが手に入るようになりました。そして、政治・経済分野から消費文化の分野まで様々なことが地球規模で共有されるようになると同時に、文化の多様性が少しずつ失われています。つまり、世界の均一化が進んできています。地球上にパズルのピースを均等に並べることで、このようなグローバリゼーションによって引き起こされる事象を包括的に表現しました。

また、グローバリゼーションという流れが地球全体に広がっている中で、その流れに乗るか乗らないかの選択はそれぞれの国にゆだねられています。このようなことを、今年度のロゴでは外れているピースで表現しています。これらのピースは、組み合わさっているパズルの中から外れようとしている、ととらえることも、今まさにパズルにはまろうとしている、ととらえることもできます。近年、グローバリゼーションが急速に進む一方で、反グローバリゼーションの動きを見せる国々も現れてきました。昨今のこと例えば、TPPIに対し保守的な姿勢を見せるアメリカや、EU脱退を支持する国民投票結果が示されたイギリスなどがあげられます。このようなグローバリゼーションの流れとは逆の動きをとる国々を外れているピースで表現しています。

また地球を囲むようにして一周する1本の線は、ヒト、モノ、カネが国家の枠組みを越えて世界中を移動しているというグローバリゼーションの特性を表しています。私たちはこの「グローバリゼーション」というテーマの背景にある本質をこのロゴで表現し、全校の皆さんに浸透することを願っています。

テーマ発表の様子

4月26日(水)の6時間目、第79回吉祥祭テーマ発表が行われました。実行委員会が議論をかさねて決定したテーマが、全校にむけて初めて発表される場です。本校のテーマ発表は毎年、全校生徒にテーマのイメージを持ってもらうため、その年のテーマ名に合った内容の劇を行っています。今年度の劇では、女子高生・女子高生の母・アメリカ人留学生・ケニア人父と日本人母を持つ少年・その少年の父、という5つの役を実行委員会が演じました。

劇が終わると、今年度吉祥祭テーマが発表され、実行委員長からテーマについての説明、PRセクションリーダーからロゴについての説明が行われました。その後、実行委員長から今年度の変更点の説明がありました。最後に今年度吉祥祭実行委員会メンバーの紹介があり、テーマ発表が終了しました。



テーマ発表が終わり、学校全体が今年度吉祥祭に向けて動きだしました。よりよい吉祥祭となるよう、吉祥女子中学・高等学校全体で精一杯頑張りますので、第79回吉祥祭をどうぞよろしくお願いします!!

吉祥祭まであと **136日!!**

(5月10日時点)

次号もよろしくお願ひします!!